令和五年度 内町小学校学校評価

1 学校教育目標　校訓「至誠」の精神のもと、互いを大切にしあい、心豊かにたくましく生きる児童の育成

2 学校経営ビジョン

めざす子ども像
自ら学び、考え、深める子
自分も人も大切にする子
たくましく、しなやかな子

めざす学校像
いきがいのある学校
やりがいのある学校
あたたかい学校

めざす教職員像
成長する教職員
協働する教職員
誇りある教職員

3 本年度の重点課題
①「主体的・対話的で深い学び」の実現
②人権教育・特別支援教育の充実
③豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
④信頼される学校づくり

4 重点課題（目標）と評価

重点課題	重点目標	重点目標評価	総合評価
①「主体的・対話的で深い学び」の実現	①タブレット端末の活用を通した個別最適な学びの推進 ②協働的な学びによる学力の向上 ③読書活動の充実と読書の習慣化	B B B	B
②人権教育・特別支援教育の充実	①自尊感情・自己肯定感の育成 ②ポジティブな行動支援の実践 ③支え合い、学び合い、高め合う仲間づくり	B B B	B
③豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	①道徳教育や地域の素材を生かした活動の推進 ②あいさつやそうじの徹底 ③運動習慣の確立と体力の向上	B B A	B
④信頼される学校づくり	①家庭や地域との連携の強化 ②学校評価を生かした教育活動の改善 ③積極的な情報発信と開かれた学校づくり	B B B	B

学校改善に向けて

校訓「至誠」の精神のもと、「互いを大切にしあい、心豊かにたくましく生きる児童の育成」を学校教育目標として、四つの重点課題を定めて各種教育活動を実施してきました。一月に地域の方々や保護者、児童にアンケート調査を実施し、それらの結果をもとに検討し、改善点等を話し合いました。

【重点課題①】：「「主体的・対話的で深い学び」の実現」について

年度当初に今年度の「学力向上改善プラン」を作成し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努めました。児童へのアンケートでは、「授業はよく分かるか」は九二％、「授業中すすんで自分で考えようとしているか」も九〇％といずれも肯定的評価の割合が高かった一方、「授業中自分の意見や考えを伝えているか」は六八％と昨年より四％ほど低下しています。今後さらに、主体的・対話的で深い学びを実現した授業づくりを行い、児童が自分の意見や考えを積極的に伝えられるよう工夫・改善を行っていきたいと考えます。

また、県を挙げてGIGAスクール構想を推進する中、教師のICT活用技能に係る研修を実施し、日々の授業の中でタブレットを積極的に活用してきました。児童へのアンケートでも、「タブレットを使った学習に進んで取り組む」が八七％と昨年よりも高くなっています。一方で、今年から保護者アンケートに追加した「タブレットを用いた学習に進んで取り組んでいる」が八〇％と他の項目より低い結果となりました。また、タブレットの持ち帰りや家庭での使用方法について、様々なご意見もいただきました。そこで、学校や家庭での活用方法等についてあらためて検討し、児童がタブレットを使った学習により意欲的に取り組み、学習効果が得られるようにしていきたいと考えます。

読書活動については、以前から実施の全校読書、読み聞かせボランティアの方々によるお話会、一昨年から実施の親子読書に加えて、授業に関する本の並行読書をどの学年でも積極的に実施しました。「家で本をよく読んでいるか」については、肯定的評価は児童が六五％と保護者が五一％とどちらも昨年度に比べて少し下がりました。読書習慣は学力向上の基盤となる大切な要素です。児童が読書の楽しさや意義を実感できる取組や授業の工夫を行い、読書習慣の定着を図っていきたいと思います。ご家庭でも一緒に読書をする時間を作るなど、読書習慣の形成に引き続きご協力いただけたらと思います。

【重点課題②】：「人権教育・特別支援教育の充実」について

重点目標の一つである「自尊感情・自己肯定感の育成」については、児童アンケートでは、「自分にはいいところがある」の肯定的評価は、七八％と昨年度と同じくらいの割合です。しかし、自己肯定感が高くない児童もいると考えられます。児童のよさが発揮できる場面（例：清掃、当番や係活動、委員会活動、縦割り班活動、ボランティア活動等）での活動内容を工夫し、全ての児童がそれぞれの個性やよさを発揮し、良さをお互いに認め合える仲間づくりを進めていきたいと考えます。

【重点課題③】：「豊かな心と健やかな体を育む教育の推進」について

「ルールやマナーを守っているか」については、保護者や地域の方から高い肯定的評価をいただいています。「自分からあいさつをしているか」については児童は八九％、保護者からは八一％の評価になっており、わずかですが昨年度より肯定的評価がふえています。また地域の方からは、「下校パトロール時に以前より子供たちのあいさつがふえた」とのご意見もいただいております。今後も、感謝の気持ち等を相手に言葉で伝えることの大切さを学校でも指導していきたいと思います。

また、市教委の企画であるボールキャッチや長縄跳びの回数を他校と競う「元気アップチャレンジランキング」への参加も定着し、多くの学年の児童が参加・挑戦を行っていました。また、市や県の体操・水泳・陸上大会に向けて、多くの児童（高学年）が積極的に参加しており、今後も、体を動かせる環境整備や体育授業内容等の工夫により児童の体力向上に向けて取り組んでいきます。

【重点課題④】：「信頼される学校づくり」について

読み聞かせボランティアによるお話会や内町地区青少年健全育成協議会行事（焼き芋大会）など保護者や地域の方のご協力を得ながら行事を実施することができました。参観日やオープンスクールも以前のような形で実施することができました。今後も、可能な限り地域の方とつながり、豊かな教育活動を実施するとともに、ホームページや学校だより等をとおして学校や児童の様子を発信するよう努めて参ります。

今回の学校評価結果を今後の取り組みに反映していきたいと考えています。これからも全教職員の力を結集し、互いに切磋琢磨しながら、「いきがいのある学校」「やりがいのある学校」「あたたかい学校」をめざし、日々の教育活動を進めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、お忙しい時期、アンケートにご協力いただきありがとうございました。深くお礼申しあげます。

表1 児童アンケート　回答率 86%

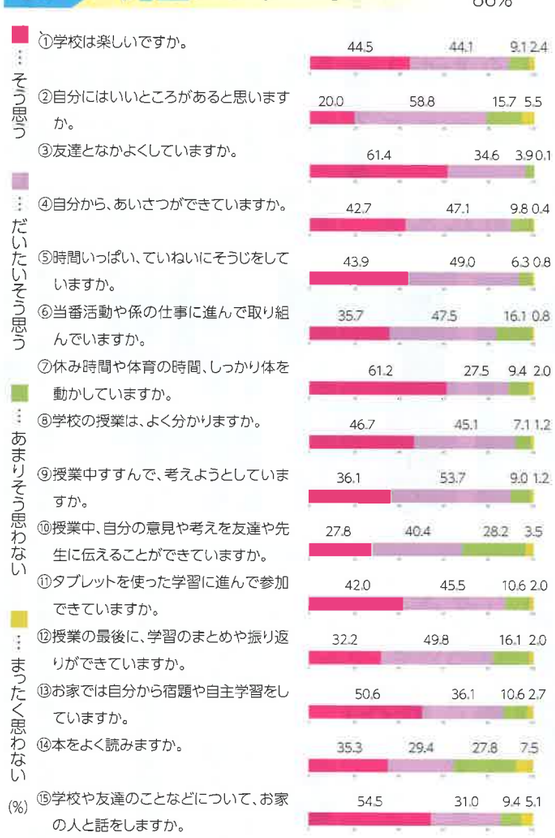

表2 保護者アンケート　回答率 77%

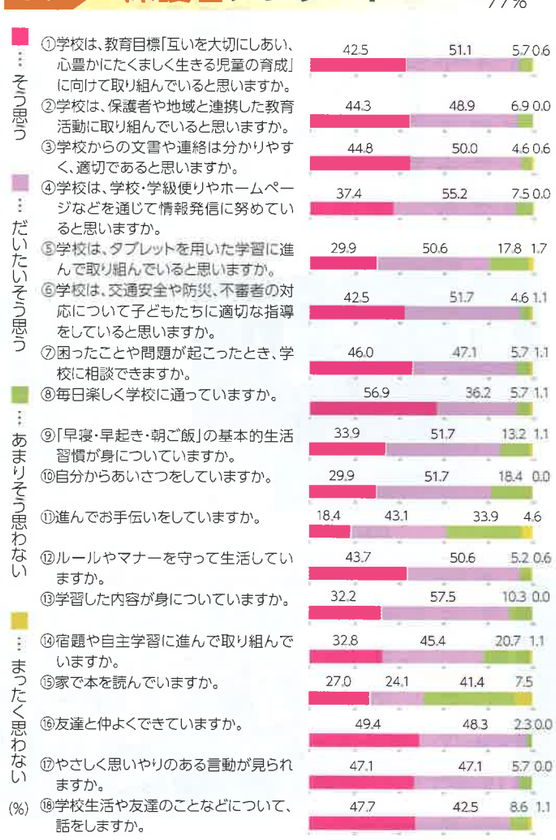

表3 地域・学校運営協議会委員アンケート（19人）